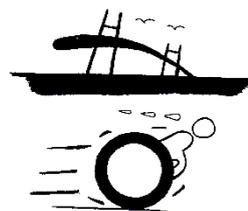


BASEL



- 発行責任者：横浜市障がい者スポーツ指導者協議会
- 編集責任者：広報担当理事
- 連絡先：〒222-0035 横浜市港北区烏山町 1752
[事務局] 横浜ラポール スポーツ課内
Fax：045-475-2053 <http://basel-y.sakura.ne.jp>



ラポールの日 和太鼓演奏

会長挨拶

横浜市障がい者スポーツ指導者協議会
会長 岩澤 英喜

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。

昨年は「第 22 回全国障害者スポーツ大会」が栃木県で開催され、横浜市の選手団も参加して優秀な成績をあげました。ベースルの会員もコーチ等として支援していただきました。ありがとうございました。

この大会から実施されるようになったポッチャにつきましてはその認知度が高まり、横浜市内の小中学校や、地域からの体験希望が当協議会に寄せられるようになりました。

こうしたポッチャをはじめとしたパラスポーツに対するニーズの高まりにどう答えていくかが当協議会の課題のひとつと考えます。そのためには会員の皆さまのご協力が不可欠です。早く正確な情報を皆さまにお届けできるように本年も引き続き努めてまいります。そして皆さまの経験と知恵をおかりして課題を克服していきたいと思っております。そのことがひいては横浜市のパラスポーツの普及・発展につながると信じております。

会員の皆さまにおかれましては、まだまだ厳しい状況のなかでの活動となりますが、お体に気をつけてお過ごしください。

第 22 回全国障害者スポーツ大会

障害者スポーツ文化センター横浜ラポール
スポーツ課 絹村 広誠



■全体を通して

4年ぶりとなる第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」が栃木県にて開催されました。今大会から新たにボッチャが正式競技となり、個人は7競技で行われました。横浜市選手団は87名（選手55・役員32）が参加し、日ごろの練習と強化練習の成果を発揮して、金43／銀20／銅13、と計76個のメダルを獲得し、16の大会新記録が生まれました。

コロナウイルス感染防止対策で、選手控え会場が分けられたり、種目によっては無観客の開催だったり制限のある大会でしたが、大きなけがや病気もなく無事に終えることができました。

次回は鹿児島大会。選手選考を兼ねたハマピックも例年通り開催の予定です。今後も横浜のパラスポーツと一緒に盛り上げるため、引き続き、バセル会員の皆様のお力添えをお願い致します。

■ボウリング競技

競技には、少年の部3、壮年の部2の計5名が出場しました。選手は4名が初出場、1名は9回目の出場、というチーム構成で、年齢差も大きくありましたが、団体行動で仲が深まり、互いにリラックスできる関係性を築いていました。今大会は、大会記録が出るなど、高スコアの厳しい戦いでしたが、金1／銀2／銅1と計4個のメダルを獲得しました。大会後、選手は、楽しかったと口をそろえ、来年はさらにいい色のメダル獲得に向け練習に励む、と意気込んでいました。

■ボッチャ競技

初開催のボッチャは、立位／座位の選手2名1組で構成、1グループ、3チームで競いました。横浜市は、安部選手・戸澤選手や監督・コーチを含め、家族のような雰囲気がある一方、練習が始まると本番のような緊張感と集中力が伝わり、メリハリのあるチームでした。1回戦は両者譲らずの展開の中、2-0で勝ち切り、2回戦は同点でファイナルショット決着となりました。緊張感の中、戸澤選手の持ち前の集中力で見事勝利し、金メダル獲得。初開催・初優勝からの連勝記録継続が期待されます。

研修コーナー

研修会報告

研修担当 後藤 貴久

開催日時2022年11月6日(土)10:00～11:30

「横浜市内小中学校ボッチャ体験会の活動報告及びスタッフ講習会」

11月6日(日)に今年度 2 回目の研修会が行われました。新型コロナウイルス感染症は一向に収まらず、増加傾向にある中での実施となりましたが、運営含め31名が参加しました。

今回の研修テーマは、「横浜市内小中学校ボッチャ体験会の活動報告及びスタッフ講習会」でした。東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けて、学校現場などでパラスポーツ体験の需要が高まり、横浜ラポールにたくさんの依頼が来ていました。2018年頃から、活動の一部をバセル会員が少しずつ担うようになり、現在では学校からの依頼調整は横浜ラポール、当日の運営や準備・片付け・報告等をバセルが行っています。今回の研修講師も、当初から活動に参加していたバセル会員によって行われました。

研修内容は、実践中心で実際の体験会の流れに沿ってプログラムを体験して行きました。今回の研修に参加した人が、今後スタッフとして関わってほしいと考えています。しかしながら、まだまだスタッフは不足しています。来年度も同様の研修を考えていますので、ぜひご参加ください。

研修の感想

- 実際に学校で実施している様な形式だったので指導の進め方のイメージが付きやすかったです。
- 事前準備が良くできていたので、生徒役の私達は学んだり楽しんだりと有意義な時間を過ごすことができました。
- 同行させていただいたことがあるので余計かもしれませんが、わかりやすく勉強になりました。学校に行ったときはその場のことで精一杯で、何がわからないのかもわかりませんでした。改めて研修という形で始めから実例に沿って行っていただいたので、よかったです。

なお、青葉区・都筑区・瀬谷区・戸塚区・神奈川区などの小学校体験教室の依頼に、研修を受けられた方が早速参加してくださいました。ありがとうございます。



会員の活動・体験コーナー

【9月25日(日)「ラポールの日」 於;横浜ラポール】



2022年はラポール開館30年の節目の年となりました。皆様と共に歩んできた30年を振り返るとともに、ラポールを知ってもらうプログラムが企画されました。たくさんのバセル会員の皆さんもいろいろなブースを盛り上げてくれました。



シアター ラポール 30年



サーカスキット体験



チャレンジボウリング



テニス体験



ユニバーサル野球体験

会員 西阪 ひろ子



私はプールの担当で、会場準備からお手伝いをしました。フロアセティングや遊具を準備し支度が整ったところで、普段とは違うプールの様子にわくわくすると同時に緊張感も覚えました。

当日は午前と午後の計 2 回の入れ替え制で実施され、私はボールプールと滑り台周辺の担当につきました。

滑り台にのぼるルールが分からずにいた子どもさんに階段代わりのステップを設置したことで素早く切り替えられ、安全にスムーズに滑れるようになったこと。ボールをバケ

ツに集めるのに夢中なお子さんを私も一緒になって手伝ったこと。年齢差関係なくそこで出会った同士で遊んでいる姿。ご家族も一緒になってキラキラした表情で楽しんでいる様子。印象的な場面がたくさんありました。初めてラポールにいらした方も楽しんでくださっていました。参加者のみなさんに安全で楽しく過ごして頂けたことが何より良かったです

会員 安田 和子

台風で、心配されていた当日でしたが晴天にめぐまれ沢山の皆さまが参加されました。

私は、ラポールボックスで「ゲームを使って、みんなでフィットネス」を担当しました。皆さん良い汗をかき笑顔で楽しく過ごされたと思います。

ロビーでの迫力のある和太鼓に感動。思い思いのスポーツを満喫されたことでしょう。



会員 五十嵐 美保



サブアリーナ「わくわくあそび広場」のボランティア活動に参加しました。

ここでは、トランポリンやサイバーホイール、ごろごろスペースが有り、私はサーキットを担当しました。

くぐる、のぼる、ジャンプ、など様々な遊具が並んでいます。

始めは慎重に緊張顔の参加者さんが、2 回 3 回とチャレンジするうちに笑顔が見え、「もっと早くすすめるよ!」、「今度は高い方に行ってみる!」

など、どんどん楽しくなっていく様子が分かりました。

整理券配布も、直ぐに終了の時間帯があり、「皆さん楽しみにしているんだな」と感じました。私も一緒に楽しみながら、良い経験ができました。コロナ禍で延期になっていたイベントですが、ぜひまた来年も開催できることを楽しみにしています。

私は、今回グラウンドでフライングディスクのボランティアとして参加しました。

午前はアキュラシー種目で、「ディスクゲッター9」「アキュラシーチャレンジ」など6種類、午後はディスタンス種目の「ディスクゴルフ体験」の受付を担当しました。フライングディスク体験の後は、ターゲットスポーツの「ジャイアントポッチャ」や「マリノスキックターゲット」の用具を渡すお手伝いをしました。

今回のラポールの日は良い天気恵まれ、参加された方々のたくさんの笑顔が見られて良かったです。これからも少しずつですが、たくさんのお手伝いできればと思っています。



**【9月17日(土)・18日(日)・19日(月・祝)
「2022 ジャパンパラ水泳競技大会」 於;横浜国際プール】**

会員 中村 安夫

初級障がい者スポーツ指導員講習会を受講して半年が過ぎ、初めてお手伝いさせていただいたのが、日本最高位の水泳競技大会。競技している選手を目の当たりして、講習会で学んだグッドマン博士の理念を再読、選手のパフォーマンスに驚きと感動の連続でした。

今回は、選手及び一般受付の担当でした。選手と触れ合う機会は少なかったですが、車いすからの目線の高さや動線等、今までにない気づきがありました。今後も先輩方から学び、また行事に参加し経験を積んで行きたいと思いません。



【10月9日 横浜スポーツ・レクリエーションフェスティバル2022

インクルーシブリー〜つなぐ〜於;小机フィールド】

会員 石田 賢一



当イベントは、二部構成で、午前は「かけっこ教室」、午後は「インクルーシブリー」が開催された。

私は2022年2月横浜ラポールにおいて初級障がい者スポーツ指導員の講習を修了し、5月のハマピックに参加し、今回は2回目の参加であった。

事前にBASEL事務局からメールで役割の連絡があったので、陸上(4X100mリレー)のルールが自身の知識と相違がないかインターネットで調べてから当日を迎えた。イベント開始前には、BASEL事務局長と今回携わる5名の会員とスケジュール確認、役割の確認をして各々の配置についた。私の担当は、第四走者の選手が各レーンの位置についたかどうかを確認する役割であった。

明治大学の現役選手が午前「かけっこ教室」でのサポート、午後にはレースに参加。その後助っ人としてもチームに入り、目の前でハイレベルな走りを見ることができた。今回も参加選手をはじめ、BASELスタッフ、横浜市のボランティアの方々と会話するなど大変貴重な体験ができた。ぜひまた参加したいと思います。

【10月22日(土)「パラ陸上タイムトライアル」 於;三ツ沢公園陸上競技場】

広報

「じぶんのチカラをためしてみよう」のスローガンのもと、トラック競技・フィールド競技の10種目に、障害のある陸上選手が日頃の練習成果を発揮していました。



【10月23日(日)「横浜市身体障害者運動会」 於;横浜ラポール】

会員 尾辻 信一



3年ぶりに、時間を短縮して「運動会」は開催されました。当日は秋晴れの下、6競技に多くの方が元気に楽しく参加され、競技を追う毎に盛り上がりを見せました。

中でも「ヒップダウン」は、風船が割れる音と喚声が響き渡り、会場も笑いに包まれました。

競技運営は、スポーツ推進委員さんを中心に、ボランティアの方々(BASEL、援護協会、捜真女学校、有志)が役割分担しました。私は初参加で用具係でした。皆さんの競技者ファーストと、互いの連携に気を配りながら自主的に動く姿を学びながら、気持ちのいい汗をかき、有意義な一日でした。

4月に登録したばかりで、未経験且つ不慣れですが、今後とも皆様のご指導を頂きながら、活動していきたいと考えています。ご一緒の機会には宜しくお願い致します。



お知らせコーナー

【 事務局より 】

各種障がい者イベント等に活動頂いた際には、皆さまがお持ちの活動実績証明(活動手帳)に貼付する実績証明シールを作成発行しておりますが、近年、活動実態が多様化する中、皆さまの全ての活動に同シールの発行が伴えない事例が生じております。

当協議会の活動におきましては、ご自身で手帳に年月日、活動事項をご記入のうえ、当協議会役員に証明印を求めるほか、当協議会事務局宛に郵送頂くなどで対応を致します。都度でなくてもかまいません。

また、給与や役務対価を得る職業やアルバイト等における障がい者スポーツに関する活動(指導・支援)についても、(公財)日本パラスポーツ協会では実績として認めることとしておりますので、活動先の団体や担当者に証明を受けてください。

【 総会・研修会のご案内 】

2023年6月11日(日)

横浜ラポール2階ラポールボックスに於いて総会及び前期研修会を開催します。

詳細は、後日改めてお知らせします。

【 役員改選について 】

今年度で現役員の任期2年が経過します。本協議会役員選出規則により次期役員候補を公募します。

詳細は同封の要項をご覧ください。

【 令和5年度 大会・イベントの運営補助申込書について 】

令和5年4月～令和6年3月の大会・イベントのボランティア募集を行います。

前期分の締め切りは、2月28日(火)です。

年間スポーツカレンダーについては参考情報として同封します。

Check

【 メールアドレス登録の件 】

会員の皆様に地域から寄せられるボランティアの依頼情報などをメールで配信しています。情報配信を希望される方は QR コードを携帯、スマートフォンなどで読み取るか、下記のアドレスよりお名前・会員番号を入力し返信してください。

※既に登録済の方は、登録の必要はございません。

Mail (basel@basel-y.sakura.ne.jp)



【会員数 2023年1月現在 474名】